

2015年11月20日
千葉交通株式会社

インバウンドに対応し日・英・中・韓の四カ国語でご案内！
**高速バスの車内放送と大型モニターによる
 多言語案内を開始します**
平成27年11月21日（土）開始

京成グループの千葉交通（本社：千葉県成田市、社長：飯島 俊一）では、11月21日（土）より、レゾナント・システムズ社製の27インチ大型停名表示液晶モニターを高速バスに搭載し、インバウンド向けの多言語案内を開始します。



搭載した27インチ大型停名表示液晶モニター（一例）

これは、インバウンドの増加に対応するため、利用者への案内強化を目的に実施するものです。

搭載した停名表示液晶モニターは、これまでのスクロール式表示機に比べ、多彩な画像や動画の表示が可能となったため、中国語や韓国語など多言語の表示に対応しました。

また、停名表示機としては最大の27インチを搭載したことで、後方座席からの視認性を飛躍的に向上させました。

あわせて車内放送も多言語に対応させ、外国人利用者への案内強化を図ります。

今回、搭載した車両は11月に納車された新造車2両で、今後、順次高速バスに導入します。車内放送の四カ国語については、21日より順次全高速車に導入します。

多言語案内についての概要は、次頁のとおりです。

多言語案内についての概要

1. 案内開始日 2015年11月21日（土）

2. 対象路線 (1) 成田空港発着高速バス路線
 (2) 東京駅～富里・多古・匝瑳線
 (3) 浜松町・東京駅～佐倉・酒々井・成田線
 (4) 「東京ディズニーリゾート®」～富里・公津の杜・成田線

3. 搭載車両 成田営業所高速バス 2両
 ※今後の高速バス新造車より、順次搭載します。

4. 対応言語 日本語・英語・中国語・韓国語
 ※二重線の言語は、今回より新たに対応する言語です。
 ※車内放送の四カ国語対応は、停名表示液晶モニターの新設を待たず
 全高速バスに順次導入してまいります。

以上